

優秀賞

気軽に楽しく コミュニケーション向上へ！

時岡 桃加（放課後児童支援員：滋賀県）

日本人は他国と比べてコミュニケーション能力が低いとされている。その理由に日本人は「空気を読む」という素晴らしい能力を持っている。しかしその能力のせいで自分の意見を主張できず相手の空気に飲み込まれてしまうデメリットがある。このゲームはあえて「空気を読まず」自分の意見を主張できるようになっており、コミュニケーション向上を目的としたアイスブレイキング的なゲームだ。

【ゲームの流れ】

プレイ人数は3人から可能。（進行者は人数に含まれない）進行者を一人決め、お題を決める。人数分カードを分配し、そのうち一人のみ違うお題がかかれたカードが当たる。お題は公表せず、それぞれ担当するお題の魅力等を順番に1分間プレゼンしていく、最後誰が違うお題をプレゼンしていたか、なんのお題をプレゼンしていたか当てたら勝ち！

カードの中には進行者のみ作成出来る特殊カードがあり「関西弁」「熱弁」「ジェスチャーのみ」等プレゼン方法にしほりを発生させる事ができる。なんのしほりが生まれるかはおたのしみ。

ルール①進行者を一人決め、お題を2つ決めてもらう（例）犬・猫

ルール②進行者は「犬」と「猫」カード、人数に合わせた特殊カードを作成し、そのうち一人のみ違うお題カードが当たるようにカードを作成する事。プレイヤーは当たった題を公表してはいけない。特殊カードは山札として設置し、一人一枚ランダムに当たるように引く。

ルール③後はプレゼンする順番を決めプレゼンスタート！

至って簡単なルールだが、発言力、表現力がとても重要となってくる。違う題に当たってしまったプレイヤーはいかに周りに吞まれずプレゼンし切れるかも大切である。誰がひとりぼっちかわからない環境の中、自分の意見を主張しつつ、相手の題を読み取らないといけないのだ。